

第64回日本小児神経学会学術集会参加報告

小児科部長 田沼直之

今年の日本小児神経学会学術集会は埼玉医科大学小児科・山内秀雄教授会長のもと、6月2日から5日まで群馬県高崎市のGメッセ群馬で開催されました。コロナ禍のため一昨年、昨年とオンライン開催のみでしたが、今年は現地開催とオンライン開催を合わせたハイブリット開催となりました。私は久しぶりに現地に赴き参加しました。会場のGメッセ群馬は、2020年に高崎競馬場の広大な跡地にオープンしたコンベンションセンターで、高崎駅から徒歩15分とアクセスもよかったです。

学術集会は小児神経領域の企画シンポジウム、教育講演、ランチョンセミナーに加えて、一般演題の口演発表、ポスター発表から構成されていました。通常は3日間の学会と前日のプレングレス半日がスタンダードなのですが、今回は6月2日の朝から5日夕まで4日間フルに予定が組まれており、大変ボリュームのあるプログラムでした。オンデマンド配信が6月6日から1か月間あったので、現地で聴くことのできなかつたプログラムも適宜追加で受講できありがたかったです。

さて私が印象に残ったお話を紹介します。「東日本大震災10年後、熊本地震5年後」というセミナーでの、熊本県観光戦略部・久原美紀子氏の「熊本地震からの創造的復興-ONE PIECE熊本復興プロジェクト」のお話です。2016年4月熊本県は3日間で最大震度7を2度経験しました。本震の翌日熊本県庁に「必ずや復興のお手伝いをさせていただきます。どうかフンバってください！」という1通のメッセージが届きました。熊本県出身の漫画家でコミックス世界一の発行数を誇る人気漫画「ONE PIECE」作者、尾田栄一郎氏からでした。「子どもたちを元気にしてください。子供たちが笑顔になれば大人は頑張れる！」と熊本県に8億円もの寄付をされたそうです。このメッセージをきっかけに熊本地震からの創造的復興に向け、「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」がスタートしました。熊本県庁に主人公のルフィの銅像を設置、その後被災地にルフィの仲間である「麦わらの一味」の像の設置を進め、ONE PIECEと県内の地域資源をコラボさせた展開で、日本各地、世界からもファンが熊本県を訪れるようになり、その経済効果は計り知れないようです。心の復興から地域活性化、地方創生につなげていく取り組みについてご紹介いただきました。

コロナ禍で行動制限された時。人々の心を癒してくれたのは音楽や文化・芸術活動ではなかったでしょうか？苦境に陥った時こそ心を豊かに日々の生活を送りたいと思いました。

来年の学会は岡山で開催される予定です。

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

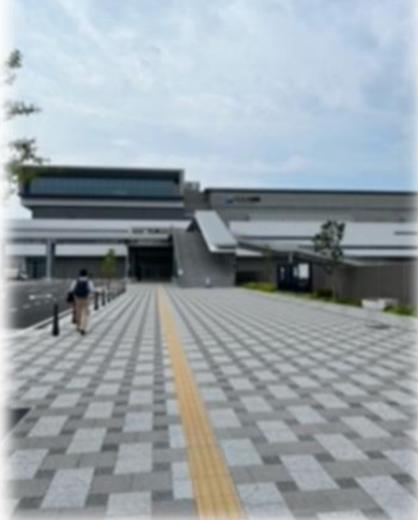
電話 042(323)5115

FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

会場のGメッセ群馬



ひだまり

都立府中療育センター新聞 第535号 発行日 令和4年7月31日

七夕会

通所 癸生川傳恵

7月7日、通所デイルームにおいて、七夕会を開催しました。七夕会の由来については、絵本「しばわんこの和のこころ」から3つのお話《中国の恋物語、雨降りを願う七夕と棚機つ女（たなばたつめ）、乞巧奠（きっこうでん）》の3つをお話しました。家に帰ってからもご家族と七夕のひと時が過ごせたらいいな・・・と思い、お話しの内容をカードにして持ち帰りました。



その後は「得点獲得ゲーム」を楽しみました。点数の描いてある的に向かって、マジックハンドや自分の手を使い、織姫や彦星のついたお手玉を投げました。みんな高得点を狙って真剣！とても盛り上がりました！

最後には飾られた笹の葉に飾られた飾りや短冊を見ながら、みんなの願いが叶いますように・・・と願いました。

夏祭り

1B病棟 藤野高子

7月13日、感染症予防対策としてソーシャルディスタンスをとり、1B病棟デイルームにてゲーム大会を行いました。夏祭りといったら、焼きそば・わたあめ・射的、そして「金魚すくい」ですよ！そこで、「金魚すくい」を基に考えたゲーム、その名は「金魚すくい」ではなく、『金魚すくえ（救え）』！！

網に見立てた大きなビニールの2か所に穴を開け、そこから捕えられた子金魚たちをビニールプールの池の中に落とします。池の中には、お父さん・お母さん金魚が待っています。3名1組のチームを作り、トーナメント戦。優勝チームには、お父さん・お母さん金魚をプレゼントしました。子金魚たちは、色とりどりのカラービニールで作られ、網のビニールには利用者が持ちやすいように楽器の鈴をつけ、視覚的・聴覚的にも楽しめるようにしました。始めのうちは、穴から落とすのが難しく苦戦の声がありましたが、戦いが進んでいくと、職員の介助も上手に(?)となり、次々と子金魚たちを救い出していきました。あちこちで笑顔や歓声が上がり、大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。



お楽しみ会&誕生会

3D病棟 瀬野由佳

7月7日に7月生まれの方の誕生会とお楽しみ会を実施しました。今年で60歳を迎える利用者さんを皆で歌をうたってお祝いしました。赤いちゃんこを着て緊張と嬉しさの入り混じった表情で笑っていました。そして7月1日から新しく仲間に加わった利用者さんの自己紹介と共に七夕の音楽を聴きながら、願いを込めた短冊を読みあげて七夕の雰囲気を楽しみました。デイルームに出られなかつ

た方も、ベッドサイドに笹を持って行って短冊を読むことで七夕の雰囲気を楽しむことができました。

後半は美ら海水族館のDVDを大画面で上映しました。ジンベイザメやエイなどが水の中をゆったりと泳ぐ様子やイルカのダイナミックな動きに興味を示して視線を向けている方、水の涼やかな揺らめきにリラックスして過ごしている方など思い思いに楽しむことができました。



バスハイク

2D病棟 福祉職

7月8日、半日バスハイクで府中市郷土の森公園に外出しました。

好天に恵まれ、澄み切った青空の下、園内の散策や、まだ残っていた紫陽花（あじさい）の花の観賞と記念撮影を楽しみました。気温はさほど高くありませんでしたが、日向は日差しが強かったため、日傘をさしながら、日陰を選んで散策しました。

園内の池には、鯉やトンボがたくさんいて、蓮の花も満開になっていました。

大きな木の下で休憩をすると、夏雲やセミの鳴き声が聞こえてきて、初夏の気配を体感することができました。また、時折涼しい風が通り抜け、涼を感じることもできました。

往復のドライブでは、車窓の景色に視線を向けて、笑顔で外出を楽しむ利用者の姿がみられました。



7月誕生会&お楽しみ会

3A病棟 青柳絵理子

誕生会は、7月の誕生者2名の方を、その日のスタッフによるハンドベルで「Happy Birthday to you」と「七夕」を演奏し、メッセージと共にお祝いしました。その後の「お楽しみ会」は、2チームに分かれ、「相手のピンをぶっとばせ!!」というボーリングゲームを行ないました。誕生者の方それぞれの好きなもの「ガンダム」と「オードリー・ヘップバーン」の写真をボーリングピンに2本ずつ貼り、相手のピンを倒して点を入れます。ただし、自分たちの好きなものピンを倒すとマイナス点に?!「やったー、たくさん倒れたよ〜!!」と思っても、自分たちのピンを倒してしまい「しまった〜!!」と、喜んだり、がっかりしたり…。勝敗は、最後まで接戦となり、最後の回までもつれこみ、「ガンダムチーム」が優勝!!大いに盛り上がり、にぎやかに7月のお楽しみ会は終了しました。



お楽しみ会

3B病棟 中島千絵

7月15日にお楽しみ会を実施しました。

暑い夏ということで、パフェやカキ氷を作りました。パフェに飾るフルーツは制作活動で紙粘土を使って作ったものです。ビニール袋に紙粘土を入れ利用者さんにこねてもらい、職員の手のひらと利用者さんの指先でフルーツを成形し、絵の具で着色しました。

アイスクリームは色の違う紙粘土を一緒に混ぜマール状にしたものを型で抜きました。カップの中のムースはマシュマロスライムを作って入れました。フワフワのスライムが出来ました。余ったスライムはビニール袋に入れ手の上に乗せたり握ったりして感触を楽しみました。

生クリームに見えるのはホイップ紙粘土で職員が絞り出しました。カキ氷は本物の氷を削りました。もちろん氷に触ってついで冷たい感触を味わいました。おいしそうなパフェとカキ氷を皆で作って楽しい時間を過ごしました。

